

ふれらんど お花畑プロジェクト 植え付け後報告レポート

R2. 9. 18 VOL. 2

〈観察をしてわかったこと〉

- クリサンセマムのつぼみが咲いていた。
- ナスタチウムは芽がでていなかった。
- コスモスが咲いているのが目立っていたが高さが低かった。
- バーベナ（宿根草）がたくさん咲いていた。
- シャスターデージーは植えたが見あたらなかった。
- カリフォルニアポピーの葉っぱが人参みみたいだった。



〈杉若さんから教えてもらったこと〉

- 1年草（2年草）・・・種子から発芽して1年、もしくは2年以内に成長して開花・結実して枯死する植物。
例）カスミソウ、コスモス、ツキミソウ etc.
- 宿根草・・・1年草とは違い、冬になると地上部（葉や茎）を枯らせて冬をのりきり、また暖かくなったら大きく育ち花を咲かせる植物。※冬になると一見枯れたように見えるが、実は生きている。
例）アイスランドポピー、シャスターデージーetc
- カスミソウの名前の由来は、遠くから見たら霞がかかったように見えるから。
- マリーゴールドには、虫の嫌がる成分があり、土の中では線虫を殺すので、野菜の隣に植える「コンパニオンプランツ」という方法がある。



〈感想〉

杉若さんに花の種類やどんな環境で育つのかを教えてもらいました。植物は環境依存性が強いから遺伝的に変異しやすく変異種が多いことも教わり、とても勉強になりました。

種蒔きや苗を植えるのは、春が良い。今の時期に植えたらあまり育たないと聞きましたが、それでも子孫を残すために人間と同じく頑張っているんだなと思いました。

〈担当； 恵庭南高校ボランティア部 工藤、樋口〉